



仕事と趣味で「毎日がいそがしい」

松本馨代さん (長野県山ノ内町) 写真・文/小山博孝

多くの





「料理するのは大好きです」という松本馨代（かよ）さん。毎日いそがしいが「仕事は楽しい」と言う

北信濃・中野市牧の入スノーパークで開かれた「スペシャルオリンピックピックス選手と滑ろう・スキーと雪遊びを楽しむ交流会」（NPO法人よませ自然学校主催）。

「次は、私といっしょに滑ってね」と子供たちにせがまれ、笑顔で応えながら、共にスキーリフトに乗り込む松本馨代さん（二四歳）。松本さんは、二〇〇五年、地元・長野で開催されたS・O世界大会（スペシャルオリンピックス）にスキー選手として出場し、スーパーIG（二位）、大回転（二位）、回転（三位）と大活躍した。松本さんたち地元出身のS・O出場選手を支援してきたのが、「よませ自然学校」を中心とした皆さんたちだ。

松本さんは、両親の指導で三歳からスキーを始め、保育園児のころから地元の競技会に出場するなどしてきた。ジャパンパラリンピックでは、高校二年生の時から今年の大会まで八連覇中と、輝かしい記録の持ち主だ。

県立飯山養護学校（高等部）を卒業した松本さんは、在学中の夏休みや土日の休日のアルバイトと、秋の実習（一週間）を経て、スーパー「マツヤ中野西店」に入社した。最初の半年ほど、寿司づくりの部門に配属されたが、その後惣菜部門の揚げ物担当になり、今年で七年目になる。野菜と牛肉のコロッケ、カニやエビクリームコロッケ、鶏のからあげ、イカ天……と、毎日二〇〜三〇種の揚げ物をつくり店頭並べるなど、テキパキと仕事を進める。

スキー以外にも、陶芸（月二回）、ピアノ（週二回）、さをり織り、トレーニングジム（週二回）と多趣味で、行動派の松本さん。仕事を終えると次の目標に向かって職場を後にした。

●NPO法人よませ自然学校（あせがき 峠上正雄校長）
〒三八一〇四〇五
長野県下高井郡山ノ内町夜間瀬六八五一
TEL・FAX 〇二六九一三三三八三六一



出来上がりを、すぐに店頭並べる



通勤はバスで約1時間



マツヤ中野西店
〒383-0045
長野県中野市大字江部字松ノ木1236
TEL 0269-23-3000
FAX 0269-23-3322



「揚げ物」のプロとして活躍する松本さん



手早くパック詰め



S・O世界大会の時、みんなで応援メッセージを書き込んだ横断幕



交流会で、デモ滑降する松本さん（中野市牧の入スノーパークで）



スキー競技に知的障害者部門がないため、トリノでのパラリンピックには出場できなかったが、派遣選手と同じウェア姿の松本さん



「今度は私といっしょよ」



33名が参加した交流会



さまざまな大会や行事には、いつもお母さん（写真右）といっしょに参加する



カンジキをつけて雪中行進



「大丈夫、がんばってね」



昼食時も、子供たちに人気の松本さん

自分の技術の向上はもちろんだが、「子供たちに教えることにもがんばりたい」と意欲いっぱいの松本さん



夜間瀬あけび工房では、陶芸、つる細工、手織り布など、手仕事を体験できる。松本さんも、ここで陶芸を学び、製作している
 夜間瀬あけび工房
 〒381-0405 長野県下高井郡山ノ内町夜間瀬2420-6
 TEL・FAX 0269-33-4377



2メートルのマフラー、6メートルのもの…と、さまざまな「さをり織り」の作品を製作する。注文でつくることもある



「養護学校（高等部）時代の馨代（かよ）作品を見て、ぬくもり、品を感じました。いいセンスを持っていると思って、もう3年ぐらい教えています」という藤本勉さんの指導で陶芸に励んでいる

松本さんの陶芸作品

